

若手プロジェクトチームの概要

1. チーム編成

- ・以下の6テーマについてプロジェクトチームを編成。

Aチーム：「業務改善・効率化」

- ・業務効率化・コストダウン、諸制度に内在しているムダ（例えば過剰な医療・介護）及び業務の縦割りの改善、民間企業・地方自治体との役割分担などについて検討する。

Bチーム：「サービス改善」

- ・ハローワークなど第一線窓口におけるお客様対応の改善、アフターサービスなどについて検討する。

Cチーム：「国民の声」

- ・国民から寄せられる意見（苦情を含む）・情報提供を選別して施策の改善につなげていくための方策について検討する。

Dチーム：「ボランティア・NPO連携」

- ・省の行政分野におけるボランティアやNPOとの連携のための方策について検討する。

Eチーム：「現状把握力強化」

- ・省の行政分野における現状把握力をいかに高めるかを考え、政策提案能力や政策効果検証力を強化するための方策について検討する。

Fチーム：「コミュニケーション力」

- ・国民とのコミュニケーションを向上させるため、国民への通知やお知らせを誰が見てもわかりやすくする方法を考え、情報公開、ホームページ改善、会議の公開など厚生労働行政の「見える化」の推進や広報戦略について検討する。

2. メンバー

34名

【チーム別の内訳】

Aチーム8名、Bチーム6名、Cチーム4名、Dチーム6名、Eチーム6名、
Fチーム4名

【職位別の内訳】 補佐クラス14名、係長クラス10名、係員クラス10名

【平均年齢】 33.2歳（最年少は23歳）

【平均在籍年数】 9.5年目（最年少は入省2年目）

3. スケジュール

5月11日	プロジェクトチーム発足
7月中旬まで	各チームの報告書とりまとめ
7月28日	省内幹部への報告会